

耐震管による整備状況

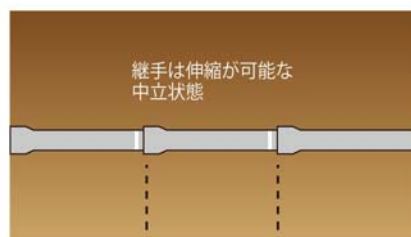
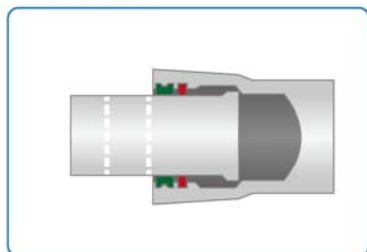
八潮市では、水道管の布設に際しては、強度の大きいダクタイル鉄管を使用していますが、平成17年度からは、耐震管（NS形耐震継手ダクタイル鉄管）で水道管の耐震化を進めています。

耐震管は、地震が起きても継手（つなぎ目）が抜け出さない構造になっております。

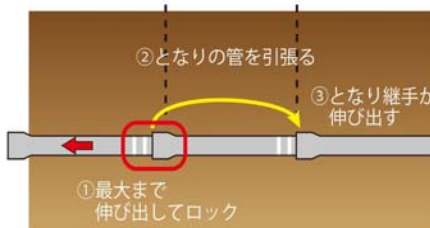
また、平成28年度からは、耐震性に加えて外面塗装の耐食性向上により長寿命化が図れる耐震管（GX形耐震継手ダクタイル鉄管）を本格的に導入し、耐震化と長寿命化に向けて水道管の新設・更新を行っています。

耐震継手ダクタイル鉄管の地盤内での動き

平常時（地震前）



大きな地盤の動きがある場合



一つの継手が最大まで伸びだすと、となりの管を引っ張り、継手が伸びだす。
次々に継手が伸縮・屈折し、管路全体で地盤の変位を吸収する。

鎖構造管路

資料提供：(株)クボタ